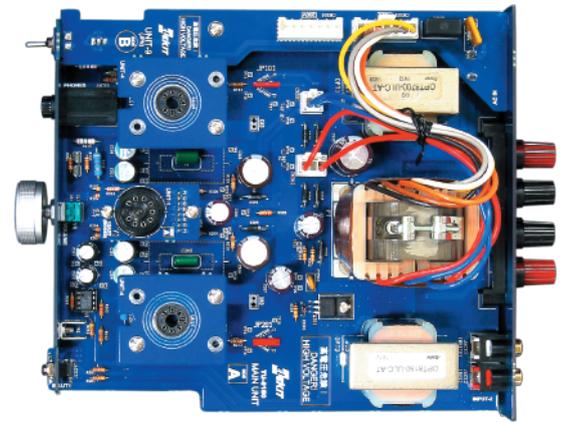


## 手軽にカスタマイズ! ヘッドホンでも楽しめるコンパクトアンプ登場



TU-8150はMT管でありながら見た目以上のパワーを取り出せる6AQ5の高信頼タイプである6005Wを出力管に使用した真空管アンプキットです。出力管の差し替えや出力管の動作モードの切り替え、オペアンプの交換などこの1台で真空管アンプの楽しさを満喫いただけます。

### ■ 真空管による音の違いを楽しむ

6AQ5は7ピンMT管ですが、オクタールベースのGT管やメタル管の6V6が同特性であることがよく知られています。付属のサブ基板に差し替えるだけでソケット形状の違う6V6を装着することができ真空管による音の違いを楽しむことができます。

6V6 装着例



### ■ 接続方式による音の違いを楽しむ

基板上のジャンパープラグの差し替えでウルトラニア接続、三極管接続、五極管接続への変更が可能です。



### ■ 大型カップリングコンデンサーにも対応

好みの分かれるカップリングコンデンサーは大型のものに取換えが出来るようにスペースを確保しています。



### ■ ヘッドホン端子装備

TU-8150は音質にも十分配慮したヘッドホン端子が装備されています。イヤホンタイプからパワーの必要な高インピーダンスのヘッドホンまで対応できるよう組立時の抵抗の取り付け方を3通り選べるようになっています。

### ■ オペアンプによる音の違いを楽しむ

最近モバイル機器を音源にすることが多くなってきましたが、真空管2段構成ではゲインが不足するため、オペアンプによるプリアンプを内蔵。オペアンプはICソケットに実装していますのでお好みに応じて他のオペアンプに差し替えることも可能です。



### ■ 「真空管アンプトラの巻」付

真空管アンプ設計のノウハウがよくわかる解説書「真空管アンプ トラの巻」が付属。「真空管って何だろう?」という基礎の基礎から、TU-8150に実際に使われている回路を題材とした設計のノウハウまで、真空管アンプをより楽しむことができる知識が詰まった内容となっています。



### TU-8150 (6AQ5シングル真空管アンプキット)仕様

- 使用真空管 : 6005W×2本、12AX7×1本 ※ 6005Wは6AQ5相当の高信頼管
- 定格出力 : UL接続時 2.9W+2.9W  
五極管接続時 2.9W+2.9W ※ともに8Ω負荷時  
三極管接続時 1.6W+1.6W
- 定格入力 : 140mV (INPUT-1) 410mV (INPUT-2) ※共にUL接続時
- 残留ノイズ : 75μV rms (IHF-A)
- 周波数特性 : 20Hz~50kHz (-3dB)
- 入力端子 : INPUT-1 (前面) 3極ミニジャック (優先入力)  
: INPUT-2 (背面) RCAジャック
- 出力端子 : スピーカ出力端子 (4~8Ω) バインディングターミナル (バナナプラグ使用可)  
ヘッドホン端子 (8~600Ω) 6.3mm標準ジャック (不平衡)
- 電源電圧 : AC100V 50/60Hz (めがね型インレット)
- 消費電力 : 28W ※無信号時
- 本体寸法 : W210×H122.5×D252mm (突起部を含む)
- 本体重量 : 約3.5kg (完成時。電源コード含まず。)



- 掲載製品の写真・仕様・価格等は開発途中の暫定仕様です。発売時に変更となる場合がございますので予めご了承ください。
- 撮影、製版、印刷の特性上、実際の色と違って見える場合がありますのでご了承ください。